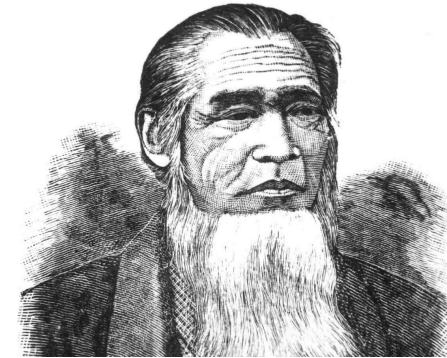


だいせんの偉人先人たち

な 良 せん じ 奈 良 専 二



【 分 類 】 のうぎようかいりよう 農業改良

【 生没年 】 1822年 ~ 1892年

(ぶんせい 文政5年) (めいじ 明治25年)

香川県出身の老農(篤農家)・農業指導者。「明治の三老農」の一人として知られる。1883年、60歳を過ぎて決意を新たに上京。以来、東京、千葉、茨城の各地で農業技術の研究を行うとともに、指導者としても活躍。1890年、秋田県仙北郡花館村(現・大仙市)に農業指導者として招聘された。花館村に移住し、豪農・佐々木多右衛門家に滞在しながら、「働かなければ生活はできない」という勤労の気風を植えつけ、ウサギの生産・養蚕・馬産を奨励、さらに納豆、豆腐の製法も教え、乾田での馬耕も指導、着々と成果をあげた。また、数々の農書を著した。耕地整理も奈良の指導で仙北郡内で最初に行われ、今日の農業の礎を築いた。

出典 『奈良専二翁伝』1996、奈良専二翁顕彰会／編

『老濃奈良専二翁時代の先端を歩んだ人』1991、佐藤康平／編